

# 平成27年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品

神奈川県選挙管理委員会



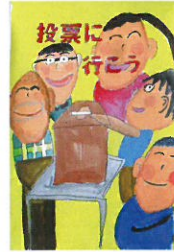
小田原市立富士見小学校2年  
磯崎 杏



相模原市立麻溝小学校3年  
廣瀬 里恋



茅ヶ崎市立浜須賀小学校5年  
上里 すずな



秦野市立鶴巻小学校5年  
宇山 晴也



伊勢原市立竹園小学校5年  
田崎 昇太



函嶺白百合学園小学校5年  
小野 晏



秦野市立大根小学校6年  
長内 喬佑



伊勢原市立石田小学校6年  
加藤 開大



伊勢原市立大田小学校6年  
三浦 花音



伊勢原市立桜台小学校6年  
瀬尾 昂



伊勢原市立緑台小学校6年  
川野 美鈴



県立相模原中等教育学校1年  
星沢 葵



平塚市立山城中学校1年  
須藤 怜紗



三浦市立初声中学校1年  
山地 聡史



綾瀬市立春日台中学校1年  
北田 鼓太郎



伊勢原市立山王中学校2年  
新保 一夏



寒川町立旭が丘中学校2年  
鶴見 未歩



函嶺白百合学園中学校2年  
網代 雪乃



川崎市立東橘中学校3年  
尾内 香澄



秦野市立南中学校3年  
和田 慎一郎



県立弥栄高等学校2年  
小泉 七実



県立弥栄高等学校2年  
藪馬 みのり



県立弥栄高等学校2年  
山崎 星来



東海大学付属相模高等学校2年  
古田 彩歌

平成28年6月から選挙権年齢が18歳以上に引下げられます

## あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童・生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦勞しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

## 応募状況

今年度は、216校から、2,836点の応募がありました。

学校	年度	23	24	25	26	27
小学校		1,911	1,562	1,645	1,500	1,709
中学校		1,169	931	1,140	816	1,088
高等学校		59	43	50	36	39
合計		3,139	2,536	2,835	2,352	2,836

## 審査結果

平成27年9月29日に行われた県の審査会において、小学生11名、中学生9名、高校生4名の計24名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生29名、中学生15名、高校生2名の計46名の方の作品が佳作となりました。

## 審査員

三浦 潤子（元神奈川県明るい選挙推進協議会監事）

相馬 敏江（神奈川県県民局くらし県民部広報県民課広報デザインアドバイザー）

橋井 香苗（神奈川県教育局指導部高校教育企画課主幹兼指導主事）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長

## 審査講評

審査員代表 三浦 潤子

「明るい選挙」というテーマについて、みなさんはまず、何を考えましたか。

「明るい」という言葉の中身には、「公正さ」とか「透明性」という意味も含まれています。選ぶ側と選ばれる側の関係も公正で透明でなければなりません。

「私が希望する社会は、こんな社会です。それには、こんな選挙をしましょう。」というメッセージ(主張)をしっかりと適切な言葉で表現するのが明るい選挙啓発ポスターです。

言葉を伝える相手は、国民のみなさんです。心に残るわかりやすい言葉で訴え掛けましょう。

次に、その言葉を印象づける絵(イラスト)は、自分の身の周りの生活や人々の働く姿、自然との共生や未来に向けた生き方など、いろいろな事柄を想像し、アイデアを練り上げます。表現方法も自分の得意な表現方法を生かしてみましょう。

ポスターの文字(レタリング)は、人の顔に例えれば、目鼻だちのようなもので、一目で読み取れるように、文字の大きさ、形、字の流れなど、イラストとの組み合わせを考えて配置(レイアウト)しましょう。

街中にいろんな色があふれていますが、ポスターを目立たせるには、どんな色使いをすればよいのでしょうか。

画面の広い部分(主にバック)とイラストやレタリングの関係をよく考え、どの部分を強調したいのか、それにはどの色を選ばばよいのか、同じアイデアでも配色でまったく違った作品になります。別の紙で試し塗りをしてみるのもよいでしょう。

ポスターは、広告、宣伝、啓発を行う手段として、一定期間掲示され、多くの人々が目にしていますが、心に残る優れた作品は、それほど多くないことに驚かされます。私の記憶に残っている作品は、1964年東京オリンピックのポスター2点のみです。

小・中・高校生のみなさんもやがて選挙に行くときが来ます。今から地域社会や日本の将来、地球全体のあり方など想像の翼を拡げてみるのもよいでしょう。

今年度は、県内市町村の小・中・高校生の作品2,836点の中から、24点の優秀作品が選ばれました。

その中で印象に残った3作品を紹介します。磯崎杏さん(小2)の作品は、ポスターを見た人が素直に「選挙に行こうね」とやさしくなれるような作品です。尾内香澄さん(中3)の作品は、「選挙」の文字を擬人化したところに発想のすばらしさを感じます。山崎星来さん(高2)の作品は、影をうまく使って、画面全体にダイナミックな動きを出し、シンプルな色調がサラリーマンの姿を印象づけました。

他にも紹介しきれない優秀な作品が多数ありました。来年も、素晴らしい作品を期待しています。